

平成31年（令和元年）度 大阪府立芦間高等学校 第1回 学校運営協議会

日時 令和元年7月16日(火) 午前9時35分～午後0時
場所 本校1階 校長室

構成員

＜協議会委員＞	
笹山 幸子	元府立高等学校長
竹本 剛	P T A会長
高松 真由美	後援会会長
田中 常雄	守口市立第一中学校 校長
宮坂 政宏	週刊教育P R O 編集委員
山崎 裕也	スクールI E (学習塾) エリアマネージャー
＜事務局＞	
東崎 浩	教頭
菊地 淳	事務長
亀井 絵里	首席 兼 総務文化部長
塩崎 靖子	首席 兼 教務主任
武田 真貴子	生徒指導主事
諸木 忠治	進路指導主事
丸山 清美	保健主事
甲斐 徹	情報部長
北野 早苗	第1学年主任
小原 浩昭	第2学年主任
角山 愉紀雄	第3学年主任
水嶋 育美	共生推進委員長
亀元 政志	校長

配付資料 ○令和元年度学校経営計画
○遅刻・出席状況

内 容

(1) 授業見学

「総合デザイン技術 I」、「基礎看護 I」、「英会話」

(2) 校長挨拶、趣旨説明

(3) 会長選出および会長挨拶

全会一致で 竹本 剛 氏を会長に選出

(4) 報告

校長より

- ・令和元年度学校経営計画について
- ・見学授業について

(5) 協議 [1] 授業改善に向けての取組みについて（授業見学感想等）

[2] 令和元年度学校経営計画について

[1] 授業改善に向けての取組みについて

(委員) 楽しく授業を受けていてよかった。楽しいことは大切なこと。

(委員) 高校の授業を見るのは初めて。希望して授業を選択したはずなのに英会話の授業では積極的ではなかった。授業アンケートの授業満足度は選択科目が多い割には低い。選び方を教えてほしい。

(事務局) 前年の9月～10月に選択科目が決まる。進路に合わせての選択が中心であるが見ていただいたのは直接入試につながらない科目が中心だった。

- (委員) 期待が高ければ満足度は下がる。満足度を分析的にとらえる必要がある。「基礎看護Ⅰ」では、単なるベッドメイキングではなく、患者さんを思い浮かべているかと聞いたところ、思い浮かべていると答えてくれた。何のためにしているのかということ重視してほしい。「英会話」では楽しんで受けることはとても重要。
- (委員) 毎年見学しているが他校より落ち着いているように思う。実習系もまじめに取り組んでいる。「英会話」も全体を巻き込んで授業をしていた。消極的な生徒も盛り上げようとしていた。
- (委員) 「基礎看護Ⅰ」はシーツ1枚を大切に扱っていた。「英会話」は最初に入ったときはとらなければいけないから受けているのかと思ったが、先生と生徒の距離感が近く、先生は生徒に好かれているのが分かった。
- (委員) 昨年見た時よりやる気が感じられた。
- (委員) 「英会話」では指名方法、音楽、ゲームなどを使った工夫が見られた。好き、楽しいの先に自分で磨き上げることが大切。ICTを使った授業は見せてもらえなかった。
- (事務局) 英語、理科、保健等でICTを活用している。今年から数学も始めた。
- (事務局) スマートフォンを使う授業も考えている。様々な使い方が考えられるが設備が追いつかない。

[2] 令和元年度学校経営計画について

- (委員) 大学でも授業アンケートを行っているが生徒の好き嫌いもある。生徒が先生の良いところを見て評価すると先生もよくなる。
- (委員) 数値に振り回されずに分析する必要がある。生徒も自己評価することは大切なこと。働き方改革では職員会議短縮の工夫が必要だと思う。部活動活性化との関連も工夫が必要。
- (事務局) 職員会議はICTを使って事前に資料を見ている。また、画面で見ることによって資料配布の時間を短縮している。部活動は1週間に1日休みを設定し、平日の活動も2時間としている。
- (委員) 共生推進教室の設置された学校の取り組みとしてきめ細かい理解が必要である。共生以外の生徒にも配慮の必要な生徒がいると思う。そのためにもICTの活用が必要となる。働き方改革では中学校でも検討されているが、会議については短くても70分程度かかっている。事前の打ち合わせをすることで改善を図っている。部活動は2時間以内となったことで働き方改革が進んでいる。
- (委員) わかる授業を充実させることは大切なこと。わかる授業に向けて伝える側が良質のインプットがないと相手をひきつけるわかりやすい授業につながらない。広報についてはスマートフォンに対応することが必要。量ではなく必要な情報をスマートフォンで得られるようにすることは有効な広報につながると思う。
- (委員) 授業満足度は数値にこだわりすぎないほうがいい。生徒の評価の観点は授業の方法や内容と異なる部分ある。大学受験が厳しくなっているのでその対応で余裕がなくなっているところもある。
- (委員) 遅刻について保護者説明会の際に「将来にかかわること」であることを説明する必要がある。芦間の生徒は理解力がある。
- (委員) 子どもたちが事故の被害者にも加害者にもなることがある。通学路の安全確保が必要。事故に巻き込まれないためにも生活規律の向上、遅刻の改善が必要。教養科目もアピールしてもいいと思う。心のバリアフリー化は進んでいないので力を入れてほしい。

○学校経営計画、令和2年度使用教科書について承認をいただいた。

(6) 校長挨拶

○第2回はオープンスクールを見ていただきたいので11月16日(土)午後を考えている。